

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	仙台大学
設置者名	学校法人朴沢学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
体育学部	体育学科	夜・通信	-	4	18	22	13	
	健康福祉学科	夜・通信			18	22	13	
	運動栄養学科	夜・通信			18	22	13	
	スポーツ情報マスメディア学科	夜・通信			18	22	13	
	現代武道学科	夜・通信			18	22	13	
	子ども運動教育学科	夜・通信			18	22	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sendaidaigaku.jp/_detail.html?post=720

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名（学部等名）	仙台大学
設置者名	学校法人朴沢学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.hozawa.ac.jp/information-disclosure.html?name=officers-list>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常 勤	元宮城県美術館副館長兼管理部長	R 2. 4. 1～ R 6. 3. 31	総務
常 勤	元七十七銀行二日町支店長	H30. 4. 1～ R 4. 3. 31	財務
非常勤	日本体育大学特別招聘教授	R 2. 4. 1～ R 6. 3. 31	学識経験者として法人運営に期待
非常勤	東北大学大学院医学研究科教授	R 2. 4. 1～ R 6. 3. 31	学識経験者として法人運営に期待
非常勤	柴田町町長	H28.10. 1～ R 2. 9. 30	地元自治体代表として大学運営に期待
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台大学
設置者名	学校法人朴沢学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスには「授業方法」、「授業の概要」、「授業計画(各回のテーマ・内容・授業外学修)」、「授業の到達目標」、「成績評価方法」、「担当教員の実務経験の有無」、「履修上の注意」、「関連科目」、「担当教員のオフィスアワー」等の項目を設けている。 ・授業計画(シラバス)の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> 5月～11月 シラバス書式の検討及び確定 12月 授業担当教員へのシラバス作成依頼 1月 シラバスの提出期日 2月 第三者によるシラバス内容のチェック 3月 シラバスの印刷 ・授業計画の作成・公表時期 <ul style="list-style-type: none"> シラバスを冊子化し、4月初旬の新年度オリエンテーションで全学生に配布している。また、4月にPDFデータをホームページで公表している。 	
授業計画書の公表方法	<p>体育学科 https://sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/13/files/syl_2020_tai.pdf</p> <p>健康福祉学科 https://sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/15/files/syl_2020_ken.pdf</p> <p>運動栄養学科 https://sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/16/files/sly_2020_ue.pdf</p> <p>スポーツ情報マスメディ学科 https://sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/17/files/syl_2020_sim.pdf</p> <p>現代武道学科 https://sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/18/files/syl_2020_gbd.pdf</p> <p>子ども運動教育学科 https://sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/19/files/syl_2020_kdm.pdf</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに「成績評価方法(方針)」と「成績評価方法(詳細)」を設け、科目毎に試験やレポート、授業態度の評価割合を学生に示している。また、シラバスとは別にルーブリックを作成し、学内ポータルサイトにおいて学生に示している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・GPAの算出方法 評価ごとに5段階のGPAポイント(秀:4、優:3、良:2、可:1、不可および放棄:0)を設定しており、このGPAポイントを下記の算出式に当てはめ、GPAを算出している。</p> <p>[算出式] $GPA = (4 \times \text{「秀」の修得単位数} + 3 \times \text{「優」の修得単位数} + 2 \times \text{「良」の修得単位数} + 1 \times \text{「可」の修得単位数}) \div \text{履修科目の総単位数}$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?post=233&name=atgb
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>平成28(2015)年度に「建学の精神」、「基本理念」、「使命・目的及び教育目的」を踏まえ、体育学部及び体育学科、健康福祉学科、運動栄養学科、スポーツ情報マスメディア学科、現代武道学科、また平成29(2017)年度に設置された「子ども運動教育学科」について、卒業の認定方針(ディプロマ・ポリシー)を策定し、ホームページ等を通じて公表している。また、卒業の認定に関する方針を踏まえ、単位認定基準、成績評価基準、卒業認定基準を策定し適切に実施している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>【体育学部】 https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?name=atgb</p> <p>【体育学科】 https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?post=668&name=taiiku</p> <p>【健康福祉学科】 https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?post=82&name=kenhuku</p> <p>【運動栄養学科】 https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?post=213&name=eiyo</p> <p>【スポーツ情報マスメディア学科】 https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?post=228&name=media</p> <p>【現代武道学科】 https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?post=243&name=gbd</p> <p>【子ども運動教育学科】 https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?post=208&name=kdm</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	仙台大学
設置者名	学校法人朴沢学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hozawa.ac.jp/dnt2/_hozawa/access/nic_img/6/files/R1-taisyakutaisyohyo-kihonkinmeisai.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.hozawa.ac.jp/dnt2/_hozawa/access/nic_img/6/files/R1-shikinsyushikeisansyo.pdf
財産目録	http://www.hozawa.ac.jp/dnt2/_hozawa/access/nic_img/6/files/R1-koukaizaisanmokuroku.pdf
事業報告書	http://www.hozawa.ac.jp/dnt2/_hozawa/access/nic_img/6/files/R1_houkokusyo.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.hozawa.ac.jp/dnt2/_hozawa/access/nic_img/6/files/R1-kansahokokusyo.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 令和2年度学校法人朴沢学園事業計画書 対象年度: 2020)
公表方法: http://www.hozawa.ac.jp/dnt2/_hozawa/access/nic_img/6/files/R2_jigyo_keikaku.pdf
中長期計画(名称: 学校法人朴沢学園中期経営計画 対象年度: 平成31年度~令和6年度)
公表方法: http://www.hozawa.ac.jp/dnt2/_hozawa/access/nic_img/6/files/keieikeikaku_2019-2023.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.sendaidaigaku.jp/_detail.html?post=720

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.sendaidaigaku.jp/_detail.html?post=720

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 体育学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/25/files/R1_mokuteki.pdf) (概要) 体育・スポーツ及び健康分野に関する学修と科学的な教授研究を通して、今日的なグローバル化の視点に立った教養を供え、人間性豊かな行動規範を培い、体育・スポーツ、健康増進に関わる指導や支援に関する専門的知見・技能を身につけた有能な指導者並びに優秀な競技者を養成することにより、広く社会に貢献することを教育研究上の目的としています。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?name=atgb) (概要) 仙台大学体育学部は、建学の精神「実学と創意工夫」を基盤に「スポーツ・フォア・オール」を基本理念として、学生一人一人の無限の可能性を導き出す真の人間形成を促す教育を展開し、体育学の基盤的な分野、すなわち、体育・スポーツ及び健康分野において専門的な知見・技能を有して活躍できる人材を養成することを目的としています。 すなわち、教育分野を含む体育・スポーツ及び健康領域での指導に携わる人材、体育・スポーツ及び健康分野の産業等に携わり、各分野で組織の目標達成・業績向上や職場の人間関係の構築・深化などに寄与するに足る能力・識見を身につけた学生に対して学位を授与します。 仙台大学体育学部では、この人材養成の目的を達成するため、本学のアドミッションポリシーに沿って受入れた学生に対して、卒業までに次のようなことを修得することを求めています。 本学のカリキュラムポリシーのもと、本学の基本理念・教育目的に沿って設定した授業科目、さらには学内外における体育・スポーツ活動や社会貢献活動を通じて、 ・その授業科目を履修して卒業要件単位数を修得することができること ・体育・スポーツ及び健康分野についての専門的知識・技能を修得するとともに、それらを実践・応用する力を身につけることができること ・現代社会において体育・スポーツ及び健康分野の学問が果たすべき役割を理解し、課題探究力、問題解決力、コミュニケーション能力などを総合的に身につけることができること
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?name=atgb) (概要) 仙台大学体育学部では、人材養成の目的を達成するため、本学のディプロマポリシーを達成のために、次のような教育課程を編成しています。 教育課程は、『教養教育』と『専門教育』の二つに大別されています。 『教養教育』は、6 学科共通の「教養基礎科目」、「教養展開科目」、「海外文化科目」及び「人生設計科目」で構成しています。これらの科目を履修することにより、自らの専門領域の勉学を進めていくためにも、さらに健全な社会生活を送るためにも、身につけておくべき基礎的な知識や技能を幅広く修得することができます。 『専門教育』は、各学科で人材養成に向けた特色のある編成となっています。体育学の基礎と各学科の学問分野の基礎となる「専門基礎科目」、そして、これらを基礎としてそれらの応用力を習得する「発展科目」や「応用科目」と、基礎として、それらの応用力を修得する「発展科目」や「応用科目」と、基礎から発展・応用という形で順次制をもった構成となっており、体系的に専門的な知識や技能を修得することになります。

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sendaidaigaku.jp/gakubu.html?name=atgb)</p>
<p>(概要) だれよりもスポーツが好きで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の建学の精神と基本理念を理解し、意欲的に仲間と協働で学ぶ意志がある人 ・意欲的に体育・スポーツ及び健康分野の専門的知識や技能を修得し、卒業後、関連する分野において、その能力・識見を活かしていこうとする意志がある人 ・スポーツ活動や社会貢献活動に意欲的に取り組む意志がある人 ・卓越した競技力を獲得するために努力を惜しまない人 <p>なお、本学で体育・スポーツ及び健康分野について学びその専門的知識や技能を修得するにあたっては、高等学校までに修得した幅広い教科の基礎的学力（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性を持って学ぶ態度）を身につけておくことを望んでいます。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.sendaidaigaku.jp/about.html?name=sosiki</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
体育学部	—	51人	26人	26人	4人	11人	118人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		75人				75人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.sendaidaigaku.jp/teacherlst.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
https://www.sendaidaigaku.jp/dnt2/_sendaidaigaku/access/nic_img/25/files/SUFD-Report2019.pdf							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
体育学部	600人	672人	112%	2,446人	2,623人	107%	48人	7人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	600人	672人	112%	2,446人	2,623人	107%	48人	7人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
体育学部	553人 (100%)	13人 (2.4%)	499人 (90.2%)	41人 (7.4%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	553人 (100%)	13人 (2.4%)	499人 (90.2%)	41人 (7.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
主な進学先 仙台大学大学院、上越教育大学大学院、鳴門教育大学大学院 他				
主な就職先 中学校・高等学校教諭(保健体育)、養護教諭、特別支援学校教諭、小学校教諭、 スポーツ産業、介護職、栄養士職、警察官、消防士、民間警備会社、その他一般企業				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
体育学部	600人 (100%)	534人 (89.0%)	15人 (2.5%)	45人 (7.5%)	6人 (1.0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	600人 (100%)	534人 (89.0%)	15人 (2.5%)	45人 (7.5%)	6人 (1.0%)
(備考) 編入学生除く。その他は休学による修業年限期間内卒業不可。 成績不良者に対し、修学サポート委員会にて専門のカウンセラー等を配置して対応している。					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスには「授業方法」、「授業の概要」、「授業計画(各回のテーマ・内容・授業外学修)」、「授業の到達目標」、「成績評価方法」、「担当教員の実務経験の有無」、「履修上の注意」、「関連科目」、「担当教員のオフィスアワー」等の項目を設けている。 ・授業計画(シラバス)の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> 5月～11月 シラバス書式の検討及び確定 12月 授業担当教員へのシラバス作成依頼 1月 シラバスの提出期日 2月 第三者によるシラバス内容のチェック 3月 シラバスの印刷 ・授業計画の作成・公表時期 <ul style="list-style-type: none"> シラバスを冊子化し、4月初旬の新年度オリエンテーションで全学生に配布している。また、4月にPDFデータをホームページで公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
平成 28(2015)年度に建学の精神、基本理念、使命・目的及び教育目的を踏まえた体育学部及び体育学科、健康福祉学科、運動栄養学科、スポーツ情報マスメディア学科、現代武道学科、平成 29(2017)年度に子ども運動教育学科の卒業の認定方針（ディプロマ・ポリシー）を策定し、ホームページ等を通じて公表している。 また、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準を策定し適切に実施している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
体育学部	体育学科	124 単位	有	49 単位
	健康福祉学科	124 単位	有	49 単位
	運動栄養学科	124 単位	有	49 単位
	スポーツ情報マスメディア学科	124 単位	有	49 単位
	現代武道学科	124 単位	有	49 単位
	子ども運動教育学科	124 単位	有	49 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.sendaidaigaku.jp/_detail.html?post=720		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://www.sendaidaigaku.jp/_detail.html?post=720		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.sendaidaigaku.jp/setubi.html?name=3tai

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
体育学部	体育学科	780,000 円	250,000 円	410,000 円	授業料およびその他については、令和 2 年度より、それぞれ 60,000 円、10,000 円を上乗せしている。
	健康福祉学科				
	運動栄養学科				
	スポーツ情報マスメディア学科				
	現代武道学科				
	子ども運動教育学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

- ・学長直轄の「修学サポート委員会」を設置し、副学長の指示の下、専門教員を含む教員が修学改善勧告者や多欠席学生等に対するサポートを実施している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

- ・就職相談体制を組織するとともに、就職指導方針を明確に定め、求人手続きに関するサポートを実施。また平成17年度より、1年生から3年生を対象に全学科のカリキュラムに必修科目として「人生設計科目～キャリア・プランニング」を開講している。将来の進路の考察、社会人としての基礎力として求められること、就職の道筋、履歴書やエントリーシートの作成方法などについて学修する。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

- ・健康管理センターにて、健康保持を目的に定期健診、診察等の各種サポートを実施している。
- ・学生相談室にて様々な悩み・問題へカウンセリングやアドバイスおよび医療機関等の他機関について情報提供を実施している。
- ・アスレチックトレーニングルームにて障害予防トレーニングやスポーツ外傷・障害のリハビリを指導している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.sendaidaigaku.jp/_detail.html?post=720